

堆肥(微生物観察)、植物(全般)、里山林管理作業を学ぶ

虫の働きを知ってチョット好きになったよ♡♡

10月30日(月)、環境部会・里山和楽会は、今年も北区の広陵小学校3年生103名を対象に環境体験学習をおこないました。これは、日頃里山和楽会が保全・再生活動をおこなっている“かがやきの森”を舞台に、土壌生物の働き、植物の成長戦略、里山林管理作業体験などを具体的に学ぶ企画で、子どもたちには知らないことのオンパレード。寒い寒い一日でしたが、子どもたちの目はいきいきと輝いていました。(※)かく言う編集担当者も生活環境コース出身ですが、生物多様性の重要性についてこんなに納得できたのは初めて。勉強になりました。ありがとうございました。(担当・浜田)

枯葉をフルってみたら？



たくさんの土壌生物がいるのにビックリ！！

子どもたちのアンケート結果より

植物も虫や動物も 循環しているのがスゴイ！

学習スケジュール

- 9:00 はじめの会
- 9:35 かがやきの森へ
(3組に分かれて学習)
- 体験学習1・堆肥(微生物観察)
- 2・植物(全般)
- 3・植物観察
- 4・里山林管理作業
(年輪観察)
- 13:30 教室に戻って授業
森林インストラクター・清水孝之氏
- 1・土壌生物の役割
- 2・植物の成長戦略
- 14:40 終わりの会

・きょうは動物の死体を食べたりして、虫が森の掃除をしたりするところがびっくりしました。私は虫が嫌いけどちょっと好きになりました。

・木の葉が落ちて積もっても、ダンゴ虫が食べてうんこして、微生物が食べてうんこして、それを木が水と一緒に吸って成長することが分かりました。いろんなことができて楽しかった。とくに木を伐るところが楽しかったです。

・植物は子孫を残すためにいろいろな方法を使っている。いろいろ

知らない植物があるので調べたりしたい。

- ・残念だったのは木を伐る時に一人だけはさみで枝を伐れなかった。
- ・木の中にカブトムシの幼虫が入っていると言っていたけど、きょうはいなかったのが残念です。

《子どもたちの反応》

★きょうの学習は

- ・楽しかった 86%
- ・ふつう 8%

★学習内容は

- ・よく分かった 31%
- ・だいたい分かった 60%
- ・あまり分からなかった 2%

「この指・・止～まれ！」で始まり11年

国の重要里山林に選ばれました

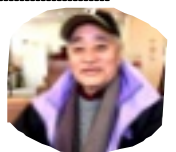
平成19年4月、生活環境13期十数名が「かがやきの森」整備再生を施設所長から依頼され、立ち上げました。全員「里山林整備再生」など無知識素人軍団で一から講師のレクチャー・現地実技学習。半年後に活動概要「ランドデザイン・会則(目的目標)・活動計画記録・活動マニュアル・マネジメントシステム・催事関与」など全員で指針を検討決議。

その後月4回年間約50回の里山林整備再生活動に入り、今年で11年目を迎えました。会員は「極々わずか

地球温暖化への寄与」「生物多様性」などを認識し継続活動。また3年前の平成27年、環境省指定「生物多様性重要里地里山全国500選」に認定。兵庫県内では24か所の一つで、会員の里山林活動の社会的認知となり、里山林活動の支えになっています。

さて、自然環境には植物の成長戦略活動があり凄まじい活力を見せます。これは地球温暖化阻止の大切な力です。当会は里山林整備再生に毎年新たな気持ちで取り組んでいます。自然で新鮮な環境の中での活動で、健康増進・気分転換の効果効用があ

里山和楽会
代表 道満俊徳



ります。どうぞ、いつでも、何方でも見学にきてください！

「里山和楽会の里山林整備」

- (1) 目的=放置された当東地区里山林を整備・再生し、広く地域住民のいこいの場としての“心林”づくりを目指し、持続的な里山林保全活動を行うことを目的とする。
- (2) 目標=景観としては「夏緑高林型(見通しが良く、山野草が咲く林内景観)」とし、生物多様性保護の場としての里山林を目標とする。また、合わせて里山林整備・再生をおして自然体験や環境保全の場とする。